

六活AN錠

●●使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗り物酔い薬、アレルギー用薬）、鎮静薬
2. 服用後、乗り物または機械類の運転操作をしないこと（眠気があらわれることがある。）
3. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけること
4. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は、服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) 本人または家族がアレルギー体質の人。
 - (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の症状のある人：高熱、排尿困難
 - (7) 次の診断を受けた人：心臓病、高血圧、糖尿病、腎臓病、緑内障、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

服用後、次の症状があらわれた場合

- ・皮ふ：発疹・発赤、かゆみ
- ・消化器：悪心、嘔吐、食欲不振
- ・精神神経系：めまい
- ・その他 排尿困難、動悸

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

- ・ショック（アナフィラキシー）
- ・服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
- ・皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）
- ・高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
- ・偽アルドステロン症 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

3．次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること

口のかわき

4．長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

●注意書き

<用法・用量に関連する注意>

用法・用量を厳守すること。

<保管および取扱い上の注意>

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

製造元

福地製薬株式会社

〒529-1606

滋賀県蒲生郡日野町大字寺尻字正府824

TEL：0748-52-2323